

4 政策5「安全」 土木部・水道局

(1) 部・課の役割

効率的なインフラの整備や維持・管理を進めるとともに、景観や環境の保全、良好な住環境整備を推進します。

建設課

- 道路、橋梁及び河川に関すること
- 建築及び耐震化促進に関すること

住環境課

- 環境保全及び都市計画に関すること
- 市営住宅及び下水道に関すること

水道課

- 水道事業に関すること

(2) 現状と課題

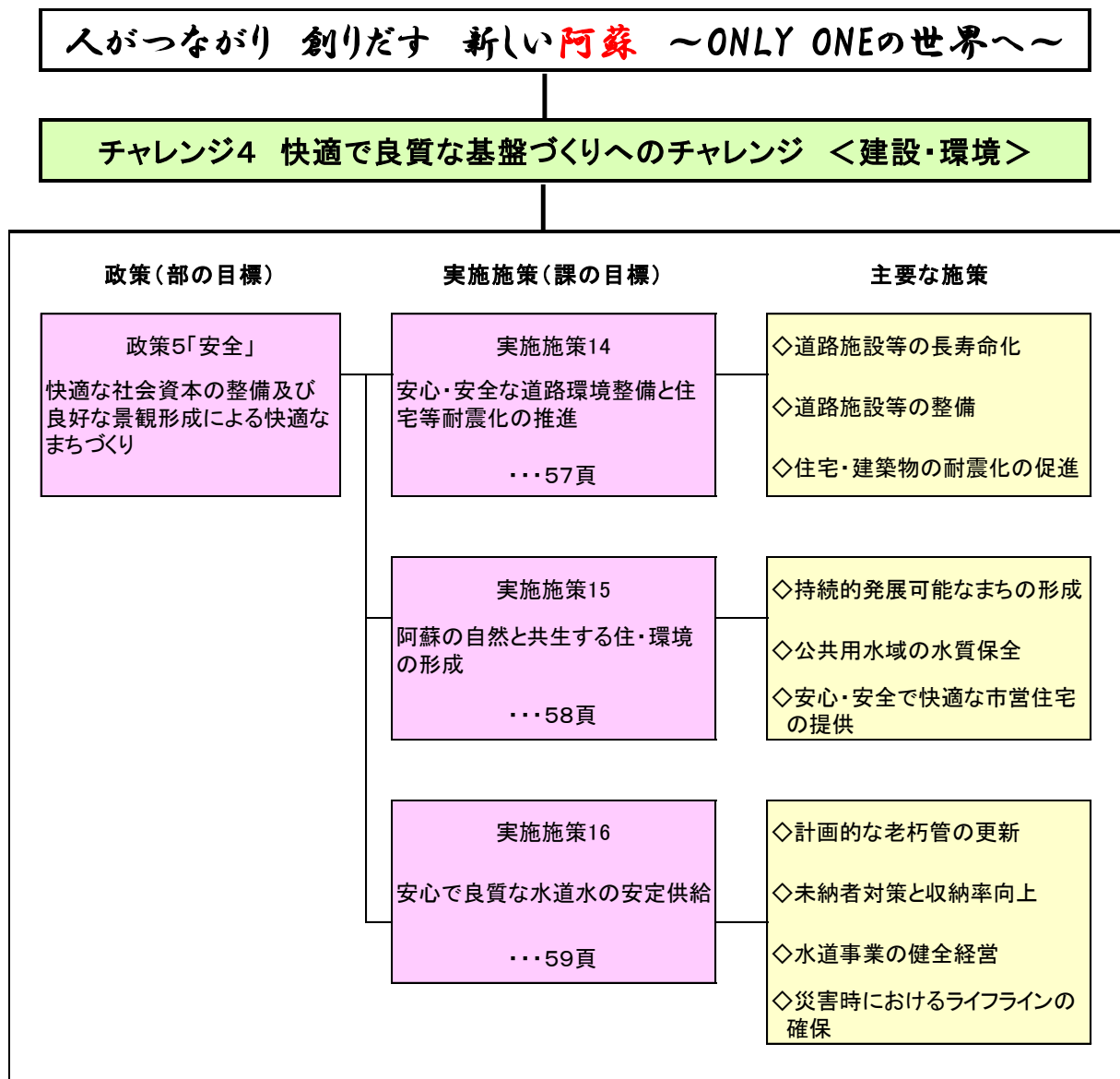
- 生活利便性の確保に必要な道路・橋梁・上下水道などインフラについては、老朽化対策を行いながらトータルコストの縮減や平準化を図る必要があります。
- 暮らしやすい街を形成していくためには、計画的な土地利用への規制・誘導を図っていく必要があります。
- 老朽化が進んでいる市営住宅を計画的に改善し、住環境の向上に努める必要があります。
- ジオパークや環境共生基金などの取り組みにより、景観保全や草原維持への関心が高まった反面、市民のごみ排出量が増加しているなど、継続的な環境保全に関する啓発活動が必要となっています。

- 安心安全な住宅・建築物を確保し、建物災害等から市民の生命・財産を守るために、定期的な市民への周知及び調査等実施のために啓発活動が必要となっています。

(3) 主な個別関係計画など

名 称	担当課	計画期間など
阿蘇市橋梁長寿命化修繕計画（第2次）	建設課	平成27年度 策定
阿蘇市耐震改修促進計画（第2期計画）		平成22年度 ～平成32年度
阿蘇市下水道事業全体計画	住環境課	昭和53年 ～平成47年度
阿蘇市地球温暖化対策実行計画 （第2次、事務事業編）		平成26年度 ～平成30年度
阿蘇市環境基本計画		平成25年度 ～平成34年度
阿蘇市営住宅総合基本計画		平成17年度 策定
阿蘇市営住宅長寿命化計画		平成26年度 ～平成35年度
阿蘇市浄化センター等再構築基本計画（長寿命化計画）		平成25年度 ～平成30年度
阿蘇市景観計画		平成27年度 策定
公営企業経営健全化計画	水道課	平成24年度 策定

(4) 政策5「安全」の体系図



政策5「安全」 快適な社会資本の整備及び良好な
景観形成による快適なまちづくり

実施施策 14
(建設課)

安心・安全な道路環境整備と住宅等耐震化の推進

市民生活の利便性や安全性を確保するため、建設後の年数が経過した道路施設等の計画的な維持補修と道路網の整備を図ります。また、市内の住宅及び建築物について、耐震不足の建物について耐震化を促し、宅地復旧整備の補助を拡充することで、市民の安心・安全な生活を確保します。

◆主要な施策

施策名	内 容	目指す効果	主な事務・事業
道路施設等の長寿命化	道路施設等の計画的な維持・補修	車や歩行者の安全で安心な通行	○橋梁長寿命化対策事業 ○道路維持事業
道路施設等の整備	計画的な道路整備	車や歩行者の安全で安心な通行	○道路新設改良事業 ○幹線道路整備事業
住宅・建築物の耐震化の促進	住宅・建築物の耐震化促進及び災害危険区域内の住宅移転促進	建築物・住宅等の耐震化率の向上	○住宅・建築耐震診断事業 ○住宅・建築耐震改修事業 ○要緊急義務化建築物耐震改修事業 ○がけ地近接等危険住宅移転事業 ○ユニバーサルデザイン建築物促進事業

◆目指す指標

成果指標名	基準値 H28	前期目標 H32	最終目標 H36
補修済橋梁数	9橋	23橋	41橋
舗装更新延長	2.1km	8.4km	19.4km
道路改良延長	425km	426.9km	428.6km
戸建住宅耐震化率	36%	40%	95%
市有建築物耐震化率	33%	40%	95%
民間建築物耐震化率	33%	40%	95%

政策5「安全」 快適な社会資本の整備及び良好な
景観形成による快適なまちづくり

実施施策 15 (住環境課)	阿蘇の自然と共生する住・環境の形成
-------------------	-------------------

これまで多くの先人が守ってきた阿蘇の豊かな自然環境を次の世代に着実に引き継いでいくため、市民が快適に生活し、安全で安心して暮らせる住・環境の形成を目指します。

◆主要な施策

施策名	内 容	目指す効果	主な事務・事業
持続的発展可能なまちの形成	資源等の有効活用による環境負荷低減の促進、都市機能の適正配置	地球温暖化の抑制、気候変動や生態系の変化の悪影響の抑制、安心安全に住み続けることができるまちの形成	○地球温暖化防止にむけての情報提供・啓発 ○新エネルギーの情報提供
公共用水域の水質保全	住・環境の向上と公共用水域の水質保全、計画的な生活排水施設の整備・改築更新の実施	公共下水道施設の維持管理の向上、延命化による改築更新費用の平準化、公共用水域の水質保全	○未普及地域解消新設工事・老朽施設更新 ○水洗化率向上にむけての啓発・情報提供 ○公共下水道使用料等の処理
安心・安全で快適な市営住宅の提供	ユニバーサルデザインを取り入れた住宅の建替、阿蘇市長寿命化計画に基づく計画的な改修	入居者が安心して暮らせる市営住宅の提供	○市営住宅の改修・修繕などの管理事業 ○集約再編計画の検討

◆目指す指標

成果指標名	基準値 H28	前期目標 H32	最終目標 H36
新エネルギー・省エネルギー施設を設置している施設数	5施設	6施設	8施設
生活排水施設整備事業に基づく水洗化率	87.4%	95.0%	100.0%
市営住宅建替え改築した戸数	118戸	139戸	159戸

政策5「安全」 快適な社会資本の整備及び良好な
景観形成による快適なまちづくり

実施施策 16
(水道課)

安心で良質な水道水の安定供給

「安心」「安全」「良質」な水道水を供給し、信頼される水道事業を持続していくため、具体的な経営目標のもとで計画的かつ効率的な業務を執行し、水道事業の経営基盤の強化と安定化を図ります。

◆主要な施策

施策名	内 容	目指す効果	主な事務・事業
計画的な老朽管の更新	漏水が著しい給水管の計画的な更新	水道水の安定供給と有収率の向上	○水道施設更新事業 ○漏水調査事業
未納者対策と収納率向上	口座振替及び納付相談による納付意識の促進	未納者の解消及び収納率の向上	○債権管理要綱策定 ○定期的な不能欠損処理
水道事業の健全経営	低利な資金への借り換えや収益的収支と資本的収支のバランスを考慮した料金設定	今後の設備投資を見据えた安定的な収入の確保	○アセットマネジメント（資産管理）実施 ○公営企業経営健全化計画策定 ○水道事業ビジョン策定
災害時におけるライフラインの確保	基幹管路の耐震化と連絡管の整備	災害時における水道水の安定供給	○基幹管路耐震化事業 ○配水池耐震化事業 ○連絡管新設事業

◆目指す指標

成果指標名	基準値 H28	前期目標 H32	最終目標 H36
有収率	56.8%	80.0%	85.0%
水道料金の収納率	86.8%	95.0%	98.0%
自己資本構成比率	67.2%	68.0%	70.0%
耐震化率（上水道事業のみ）	80.9%	85.0%	90.0%